

研究データエコシステム 中国四国地区コンソーシアムへのお誘い

西村 浩二

広島大学 副学長 (情報担当)

「研究データエコシステム中国四国コンソーシアム」設立シンポジウム

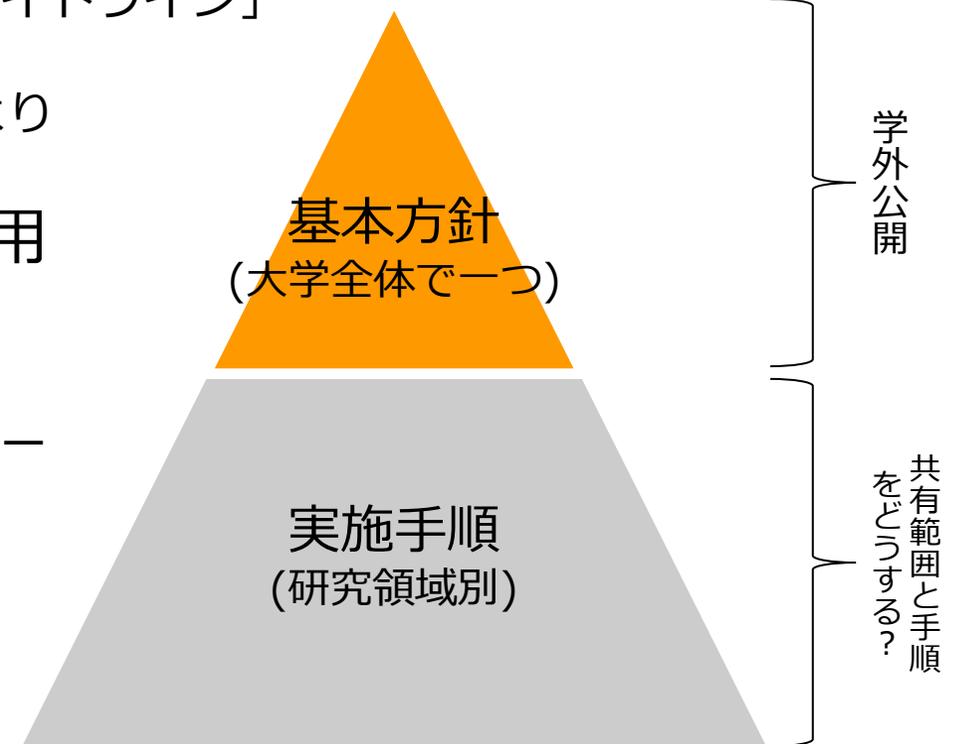
- 制度・規則設計の観点

- 研究データの管理方法等検討 WG

- 広島大学の研究データの管理・利活用に係るデータポリシーの策定、組織的な研究データ管理のための環境整備の検討及び「広島大学における研究資料等の保存に関するガイドライン」の見直しを検討し、実施案を策定する
 - 理事・副学長(研究担当)や事務担当者の交代により仕切り直し必至

- 「広島大学研究データ管理・公開・利活用ポリシー」(基本方針)の策定

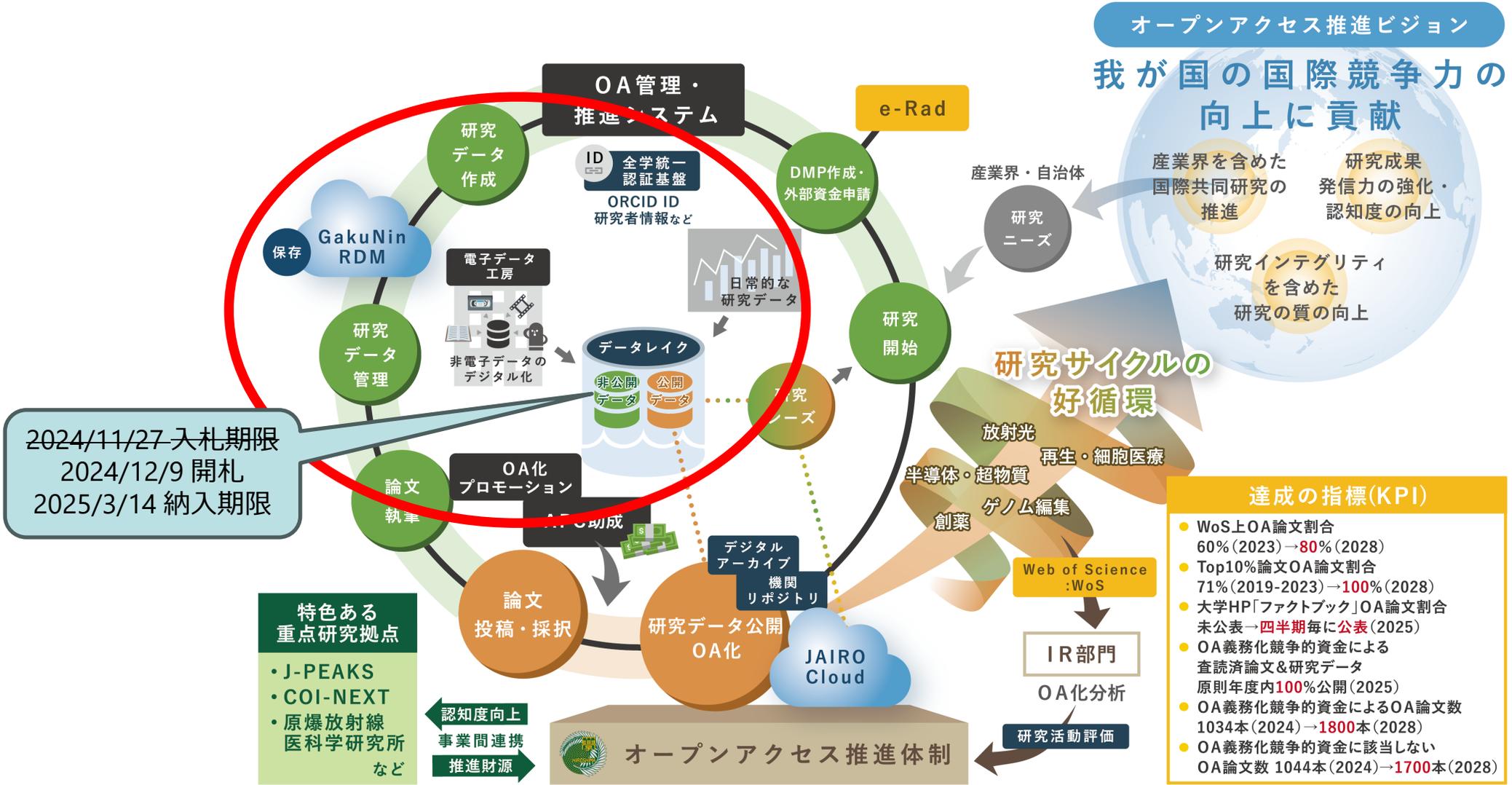
- 2022年6月21日 教育研究評議会承認
 - 広島大学 研究データ管理・公開・利活用ポリシーに関する解説(学内限定)
 - GakuNin RDMの開発進捗及び他機関の策定状況を参考に、管理・公開・利活用の方針、責務、実施手順を定める



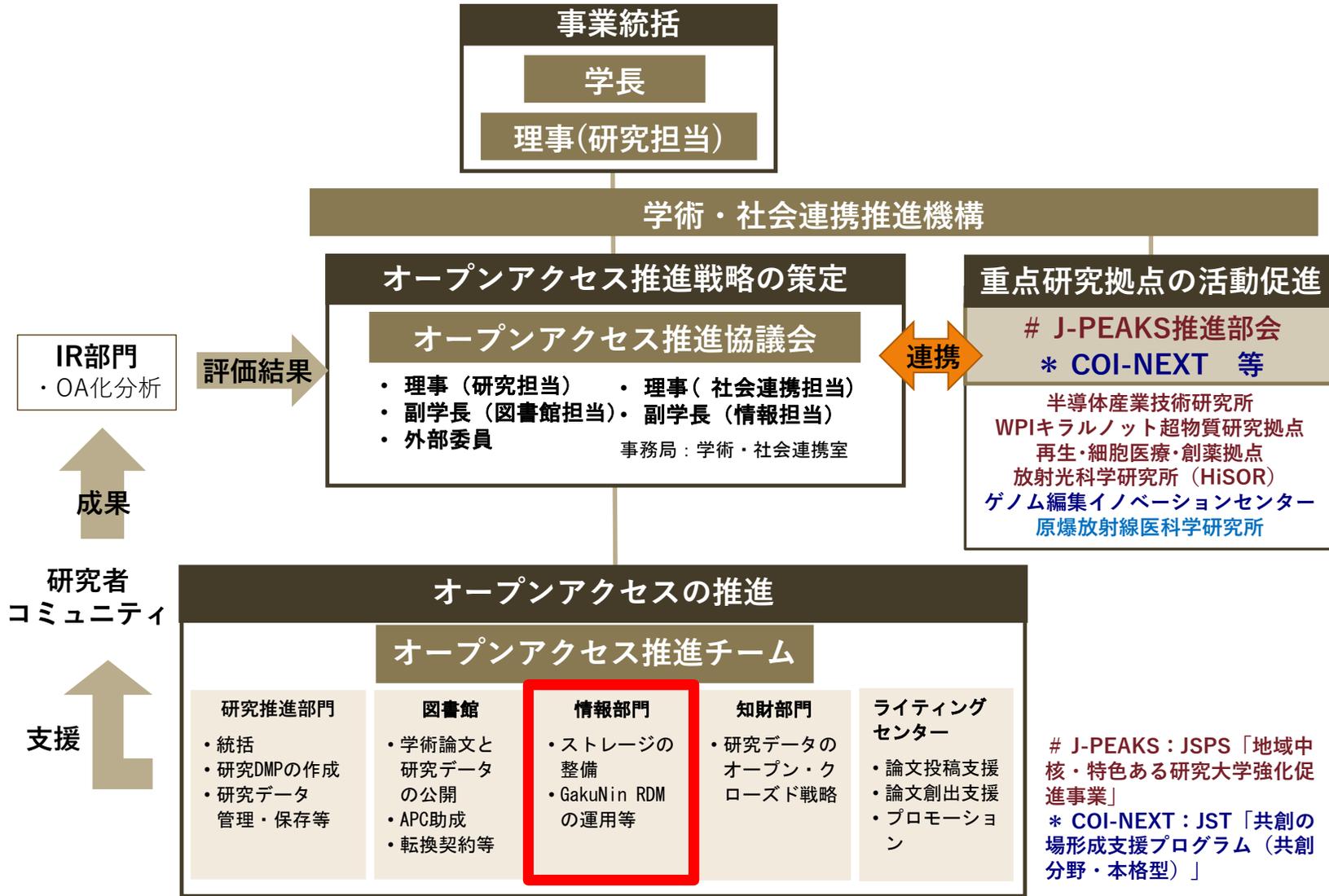
(広島大学における) GakuNin RDM利用の現状と課題

- 機能・環境整備の観点
 - ストレージの選定に向けた試行
 - クラウド：Dropbox Enterprise (拡張ストレージとして)
 - オンプレ：Cloudian HyperStore + Nextcloud (拡張ストレージ or 第2の機関ストレージとして)
 - オープンアクセス加速化事業 (区分1) の採択を受けて
 - オンプレ：全学データ基盤 (データレイク) を整備し、日常的に生成されるデータを一括して蓄積・管理する
- GakuNin RDMの利用対象者 (「研究者」の定義)
 - 教育研究情報収集システムに登録されている者
 - [広島大学職員任免規則](#)
 - 別表 (第4条関係) 職種, 職名及び職階のうち、以下の職種
大学教員
 - [広島大学教育研究系契約職員の任免・給与及び労働時間・休日・休暇に関する規則](#)
 - 第3条「教育研究系契約職員」のうち、次の者
(1) 特任教員, (2) 寄附講座教員, (3) 病院助教, (4) 法科大学院みなし専任教員, (14) 共同研究講座等教員
 - GakuNin RDM の利用に関わる (必要のある) 者を含めるともっと多い (2024年10月7日現在)
 - 2,157名 (研究者 = 教育研究情報収集システムに登録されている者 (1,761名)+登録されていない者 (396名))
 - 「教育研究系契約職員」のうち、次の者 (5) 特任学術研究員, (6) 研究員, (8) 日本学術振興会特別研究員
 - 3,363名 (さらに研究支援者 (1,206名) を含む)
 - 「教育研究系契約職員」のうち、次の者 (7) 教育研究推進員, (9) 教育研究補助職員, (10) 病院診療医, (11) 病院研修医, (12) 病院夜間・休日診療医, (13) 契約教諭

(広島大学における) オープンアクセス加速化事業の全体概要



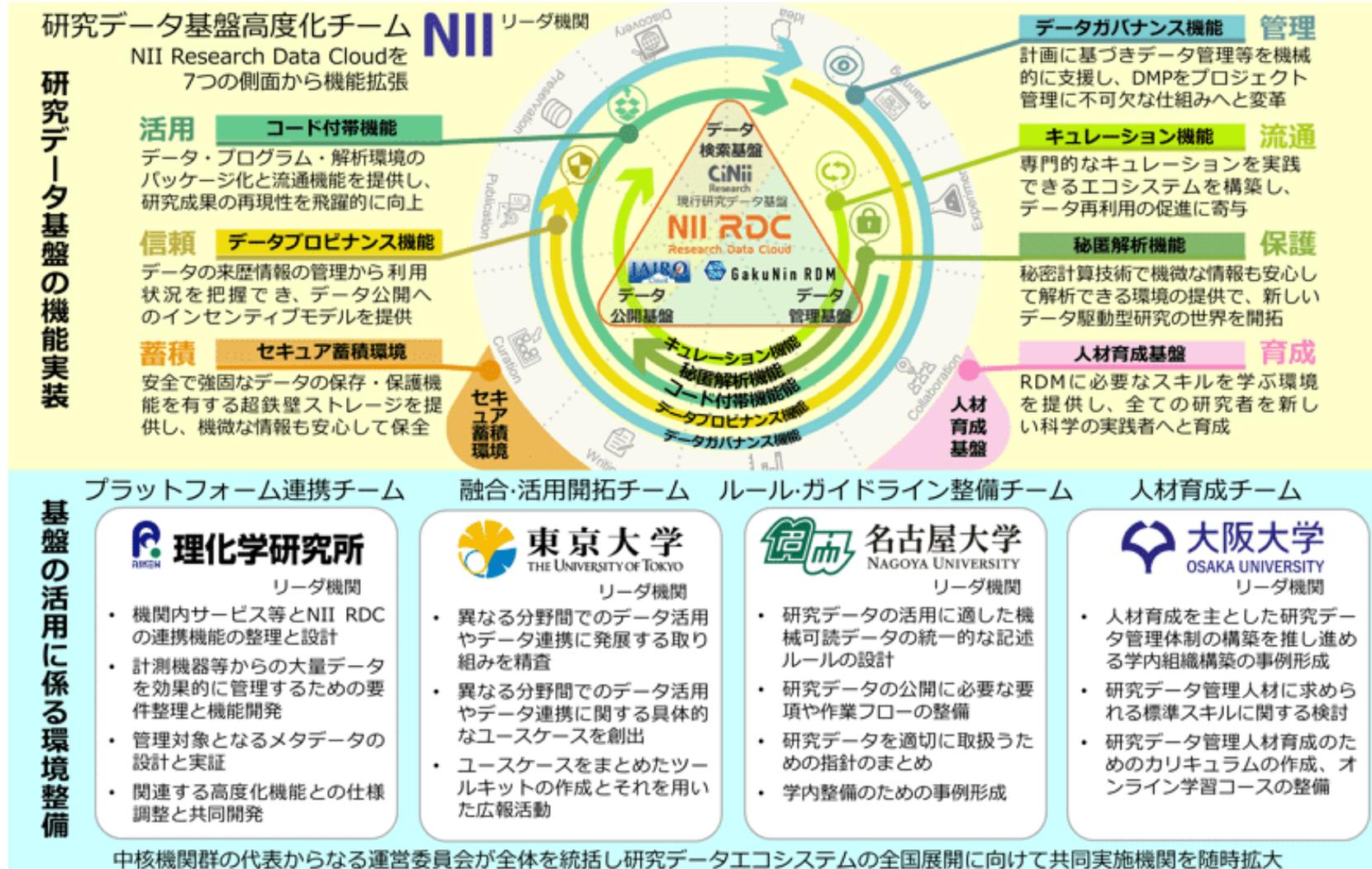
(広島大学における) オープンアクセス加速化事業の組織体制



研究データエコシステム構築に向けて

- 研究データ管理ポリシーの策定
 - とりあえず基本方針は作成したけれど、多様な研究分野や研究領域に対応した実施方針はどうすれば... ですよ？
 - オープンアクセス方針に対応していかなければならないけれど、研究データ (根拠データ) のオープン化方針はどうすれば... ですよ？
- GakuNin RDMの整備と運用・活用
 - GakuNin RDMには参加したけれど、現在は標準ストレージ。今後のストレージ整備戦略はどうすれば... ですよ？
 - 研究データ管理を推進するためにはGakuNin RDMの活用を学内に呼びかけなければいけないけれど、どうすれば... ですよ？
- 機関リポジトリとの連携
 - (再掲) オープンアクセス方針に対応していかなければならないけれど、研究データ (根拠データ) のオープン化方針はどうすれば... ですよ？
 - メタデータも付与しなければならぬけれど、研究力強化でますます忙しくなる研究者の負担をできるだけ抑える仕組みはどうすれば... ですよ？
- これらが研究データエコシステムとして機能させるために、それぞれをどのように構築し、推進していけばいいのだろうか？
 - 研究データポリシー、GakuNin RDM、オープンアクセス加速化事業、など考えるべきことが山積
 - これらをそれぞれの組織でではなく、少し広く、まずは中国四国地区で一緒に考えませんか？

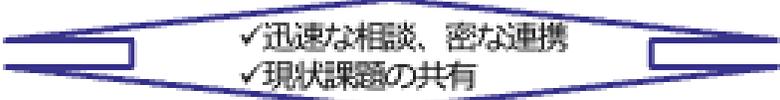
AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業



研究データ管理スタートアップ支援事業

中核機関群：司令塔機能を果たし、各拠点大学と連携し相談等に対応する

NII	理化学研究所	東京大学	名古屋大学	大阪大学
-----	--------	------	-------	------



各地域におけるコミュニティ：核となる拠点大学が支援機関としてリード

- 全国に、拠点大学を作って中核機関群が支援し、各拠点大学が地域の多様な大学・研究機関を支援
- 潜在需要が想定される大学も含め、コミュニティを広げていく



各地区の取り組み

- 東海地区
 - [研究データエコシステム 東海コンソーシアム](#)
- 北陸地区
 - [北陸研究データ基盤コンソーシアム](#)
- 中国四国地区
 - [研究データエコシステム 中国四国コンソーシアム](#)

中国四国地区コンソーシアムの活動計画 (1)

- 当該地区における研究データ管理ポリシーの策定・運用の支援・推進

- 当該地区設置機関の研究データ管理ポリシーの策定状況の把握

- 研究データ管理ポリシーの策定や GakuNin RDMの構築・運用に関する情報共有を通して、OA加速化事業等を含む研究データエコシステムの構築を目指す

- 「国立情報学研究所研究データ管理・公開ポリシー (試行版)」を雛型とした各機関への展開

- 各機関の状況に即した基本方針及び実施方針 (実施手順) の策定のための勉強会・情報交換会

- シンポジウム・セミナーの実施 (キックオフ、シンポジウム、勉強会) による情報共有

- クラウドサービス利用シンポジウムや大学DX勉強会、AXIES各部会とのコラボレーション

	都道府県	大学名	研究データポリシー	GakuNin RDM	OA加速化事業
国立	鳥取	鳥取大学	○ (2024.03.13)	○ (2024.01.12)	
	島根	島根大学		○ (2022.08.16)	区分3
	岡山	岡山大学	○ (2024.01.15)		区分2
	広島	広島大学	○ (2022.06.21)	○ (2019.08.29)	区分1
	山口	山口大学	○ (2024.04.01)	○ (2021.11.15)	区分2
	徳島	徳島大学	○ (2024.03.07)	○ (2022.07.15)	区分3
	徳島	鳴門教育大学	○ (2022.10.12)		
	香川	香川大学	○ (2024.02.16)	○ (2023.07.18)	区分2
	愛媛	愛媛大学	○ (2023.03.08)	○ (2022.01.17)	区分2
	高知	高知大学			区分3
公立	山口	山陽小野田市立山口東京理科大学			区分3
	高知	高知工科大学		○ (2024.05.10)	
私立	岡山	ノートルダム清心女子大学	○ (2024.03.28)		
	広島	広島修道大学	○ (2024.04.10)		

中国四国地区コンソーシアムの活動計画 (2)

● 研究支援活動におけるAI活用とDX推進

－ 論文検索システム Intellectra の共同利用 (→ 研究支援活動への利用)

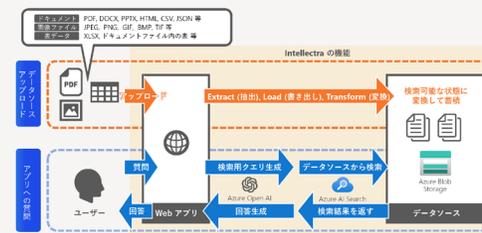
- 非定型ドキュメントを検索可能な形式に変換して利用
- ドキュメントの言語に関わらず母国語で会話
- 回答の生成過程の提示・確認による信頼性の確保
- 個人・機関・コンソ全体のデータソース選択・管理
 - － 外部データソース (JAIRO Cloud, GakuNin RDM等) との連携
- 質問者と回答者のペルソナ (役割) を設定して利用
- テナント内のデータの二次利用なし

● AIを活用したDX研修の実施

- － Intellectra 勉強会
 - キックオフ (11/29)、クラウドシンポジウム (3/13,14) (年度内2回開催予定)
- － Copilot 勉強会
 - 機関毎/地区全体で勉強会を実施
 - Intellectraテナント外部からの教育利用などを想定

01. 非定型なドキュメントの利用

非定型のドキュメントをアップロードする際に検索可能な形式に自動変換するため、画像や表の中の情報もデータソースとして利用できます。



02. 多言語対応

ドキュメントの言語にかかわらず、ユーザーが母国語で質問すると質問した言語で回答が生成されます。



03. 回答の透明性と信頼性

ユーザーは回答がどのように生成されたかを確認できるため、信頼性があることを確認したうえで情報を利用できます。

質問から生成された検索クエリ | AIの思考プロセス | 引用されたドキュメント情報・ページ数

04. データソースの選択・管理

参照先のデータソースを選択できます。

- ユーザーがアップロードしたファイルの個人フォルダ
 - コンソーシアム全体、大学全体など所属グループの共有フォルダ
- なおアップロードしたファイルは、削除などの操作が可能です。

05. ペルソナ・会話スタイルの設定

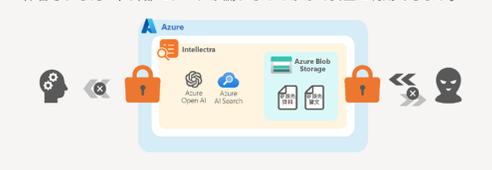
チャットの設定画面では、ユーザーのペルソナ、回答スタイルを設定できます。

ユーザーのペルソナ	回答スタイル
質問者(ユーザー)と回答者(システム)のペルソナ(役割)を指定して検索することでより正確な回答を提供できます。	必要な回答に応じて、長さや会話を変更できます。
ユーザーペルソナ 教師	回答の長さ: 短い 標準 長い
システムペルソナ 学生	会話タイプ: 簡潔的 標準 厳密

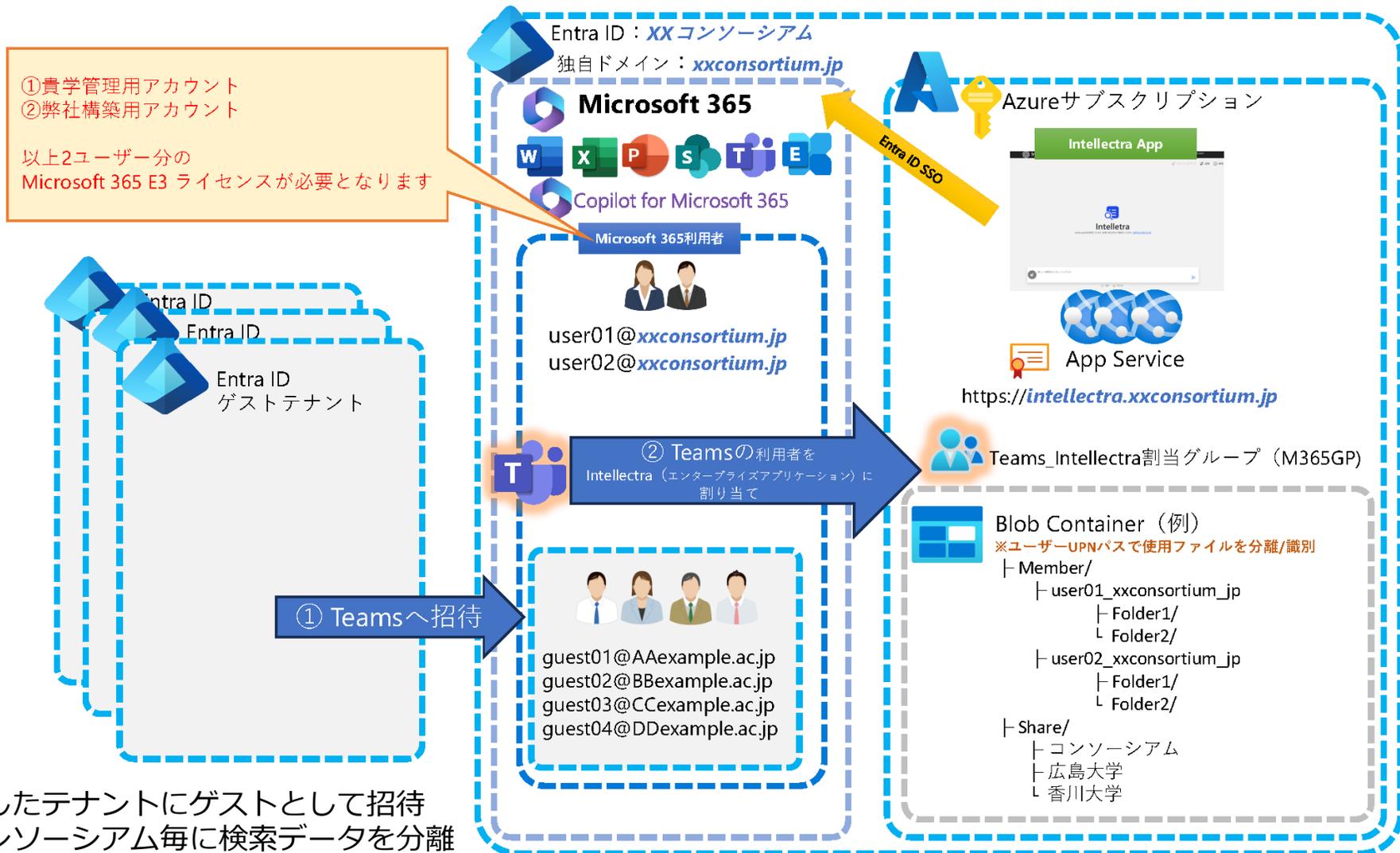
06. セキュリティ対策

Intellectraでは、Azure OpenAIを使用しているため、会話データやデータソースとしてアップロードしたデータは**Open AI社やMicrosoft社のトレーニングデータとして二次利用されません。**

またデータソースとしてアップロードしたデータはAzureテナント内に保管されるため、外部にデータが漏れることがなく安全に利用できます。



論文検索システム Intellectra 共同利用の仕組み



- ・参加機関から独立したテナントにゲストとして招待
- ・利用者/機関/コンソーシアム毎に検索データを分離

研究データエコシステム 中国四国コンソーシアム

本コンソーシアムについて

イベント

会員組織一覧

会員募集

研究データエコシステム 中国四国コンソーシアム

学術機関が相互に連携し協力することで、研究データエコシステムの拠点を中国・四国地域に整備し、その普及と利用促進を目的とした活動を行います。

お知らせ

2024/10/31 (2024/11/29) [中国四国コンソーシアム設立シンポジウム](#)を開催します

2024/11/29

「研究データエコシステム中国四国コンソーシアム」設立シンポジウム

<https://dataeco.hiroshima-u.ac.jp>

14

研究データエコシステム中国四国コンソーシアム会員規約

研究データエコシステム中国四国コンソーシアム 会員規約

第1条 (目的)

「研究データエコシステム中国四国コンソーシアム」(以下「本会」という。)は、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県(以下「中国四国地区」という)に研究データエコシステムの構築拠点を整備し、国公立大学、高等専門学校、公的研究機関その他の学術研究機関が相互に連携し協力することで、我が国の研究データ基盤の普及と発展に寄与することを目的とする。

第2条 (会員資格)

- 中国四国地区か否かを問わず、国公立大学、高等専門学校、公的研究機関その他の学術研究機関、又はこれらの機関の部署のみが会員になることができる。なお、研究者個人は会員になることができない。
- 同一機関から複数部署が会員になる場合は、特別な事由がない限り、代表する部署を定めたいえで一会員として加入するものとする。

第3条 (入会の手続)

- 会員となろうとする者(以下、「申込者」という。)は、本規約に同意のうえ、当会所定の申込書に必要事項を記入のうえ、当会が指定する窓口へ申込書を送付しなければならない。
- 当会は、当会の基準に従って申込者の入会の可否を判断したうえで、申込者に通知を行う。
- 当会が、その入会を許可する通知を申込者に発信した時点をもって、本規約に基づく契約(以下、「会員契約」という。)が会員と当会の間に成立する。

第4条 (登録情報の変更)

登録情報に変更があった場合、会員は、当会所定の方法でその旨通知・連絡するものとする。会員が登録情報の変更を速やかに通知・連絡しなかったことにより、会員に損害が生じたとしても、当該損害について当会は一切責任を負わない。

第5条 (本規約の変更)

- 当会は、必要に応じ、随時、本規約の全部又は一部を変更することができ、会員は、これらの変更を当会が行うことを予め本規約をもって承諾するものとする。
- 当会は、本規約の全部又は一部を変更する場合には、変更希望日の1ヶ月前までに、当該変更の内容を、会員に通知しなければならない。これを怠ったときは、前項に基づく本規約の変更は、効力を有さない。
- 会員が前項の通知を受けた後、当会の活動に参加した場合(資料等の利用を含む)、あるいは、前項の通知を受けてから1ヶ月以内に会員が会員契約を解約しなかった場合、会員は、変更希望日から変更後の本規約が適用されることに同意したものとする。

第6条 (活動内容)

本会の活動内容は、次のとおりとする。

- 会員又は会員が所属する学術研究機関の研究データポリシーの策定と、その運用のための体制整備などに関する情報交換
- 学術研究機関における研究データの管理・公開・利活用に関するセミナー開催
- 研究データ管理に必要な基盤システム、人材、教材などの知見の共有
- webサイトの運営を通じた本会の活動紹介
- 本会の活動成果・事例の全国展開
- その他、研究データエコシステム構築に関する事業

第7条 (会長・事務局)

- 本会の会長は、「A I等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業研究データ管理スタートアップ支援事業」の受託代表者が務める。
- 本会の事務局は、広島大学財務・総務室情報部内に設置する。

第8条 (会費)

会員の会費は、無料とする。ただし、会員の個別の活動、会議参加にかかる費用は、各会員が負担する。

第9条 (活動期限)

本会の活動期間は、2026年度末までとする。その時点で、会員との会員契約は終了する。ただし、当会及び会員の協議に基づいて、会員契約の期間を延長することができる。

第10条 (任意退会)

会員は、当会が定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

第11条 (除名)

会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、当会は当該会員を除名することができる。

- 本規約に違反したとき
- 当会の名誉を傷つけ又は目的に反する行為をしたとき
- その他除名すべき正当な事由があるとき

附 則

この規約は、令和6年11月29日から施行し、令和6年9月4日から適用する。

一緒に考えてくれる仲間 (会員) を募集します

- 募集対象
 - 大学、短期大学、高等専門学校、研究所等の学術機関
- 入会メリット
 - 会員限定の学内体制整備やデータポリシー策定等の情報交換イベントに参加できます
 - セミナーなどコンソーシアム活動を企画できます
 - 会員の機関や部署、会員の活動をコンソーシアムのウェブサイトリンクまたは掲載できます
 - 研究データエコシステムに関わる会員限定の情報が随時提供されます
- 入会条件
 - 研究データ管理・公開・利活用の推進に関心のある (会員規約に同意いただける) 大学、短期大学、高等専門学校
※ 中国・四国地域に限定しません
- 入会方法
 - 入会を希望する団体は、入会申込書に必要事項を記入のうえ、以下にお送りください
- 入会申込書フォーム
 - 送付先)
研究データエコシステム中国四国コンソーシアム 事務局
dataeco-cs-conso(at)ml.hiroshima-u.ac.jp
※ (at)を @に変更してください。
※ メールのはじめの件名は、「(機関名) 研究データエコシステム中国四国コンソーシアム入会申込」としてください。
- その他
 - 会費は不要です。当コンソーシアムの活動として行う総会などの会議や会合、セミナーの実施等に要する費用は、文部科学省「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業研究データ基盤スタートアップ事業」における活動のために広島大学に配分された予算で負担します。ただし、参加に係る旅費等は、会員各自でご負担いただきます
 - 入会申込は随時受け付けています